

令和2年度地域密着型金融の取り組み状況について

令和3年8月

滋賀中央信用金庫

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発令され、外出自粛や飲食業における営業時間の短縮等、人の移動や消費行動の制限から実態経済に甚大な影響を及ぼしました。

感染拡大の影響は地域経済にも打撃を与え、事業継続に危機感を覚える事業先も少なくありませんでした。

こうした中、当金庫は事業者の皆さまに真摯に寄り添い、実質無利子・無担保融資を中心とした資金繰り支援に注力してまいりました。また、感染拡大の影響と求められている支援内容を業種別に把握し、アフターコロナを見据え本業支援に活かすことを目的として、全取引先を対象に2度のコロナアンケートを実施しました。

アンケート結果から、当面の資金繰りは落ち着き、感染終息後に向けて販路拡大や補助金・コスト削減等の情報提供を求める声と共に、事業承継や廃業といったコメントも目立ち、「積極」・「消極」の二極化が進んでいることが窺えました。

当金庫としては通り一遍の支援ではなく、取引先の状況に応じたオーダーメイドの支援を行う必要があると考え、今後とも金融サービスの向上と地域の活性化・持続的発展のため広く貢献できますよう努めてまいります。

* 詳細につきましては、「地域密着型金融の取り組み状況」をご参照ください。

以 上

地域密着型金融の取り組み状況（令和2年度）

令和3年8月
滋賀中央信用金庫

項 目		動機（経緯）	取組内容	成 果
I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化				
(1)	創業・新事業支援	創業・新事業支援への審査能力向上と情報活用	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関等への参加および連携強化を図り情報を活用、創業期や新事業を展開する中小企業を支援していく。 滋賀県産業支援プラザ、滋賀県中小企業診断士協会、滋賀県信用保証協会、各商工会議所、商工会等と連携し情報を積極的に活用しました。 滋賀県制度資金、滋賀県信用保証協会（創業関連保証等）の積極的な活用を図りました。 近江八幡商工会議所、安土町商工会、当金庫との共催で、はちまん創業塾を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 創業・新事業支援融資実績 創業支援資金「未来」 4件 210万円 創業資金創業関連保証融資（保証協会付） 44件 229万円 補助金申請件数 7件 創業セミナーの開催 10月～12月 計6回 はちまん創業塾 参加人数 延べ17名 守山商工会議所主催の「もりやま創業塾」へ協力企業として参加。情報提供・創業計画作成支援等を行いました。
(2)	経営改善支援	取引先の経営改善支援の継続的取組み	<ul style="list-style-type: none"> 二次に亘るアクションプログラム及び地域密着型金融の取組みの中で培った事業改善のノウハウや目利き力を活かし、地域中小企業の経営改善、事業再生支援の取組みを強化していく。 滋賀県中小企業再生支援協議会及び滋賀県信用保証協会経営サポート会議の活用を図りました。 コンサルティング機能強化を目的に外部機関の研修に積極的に参加、ノウハウを学び目利き力向上を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業性評価を通じた課題解決型融資の取組み実績 10件 2170万円 滋賀県信用金庫協会主催「コンサルティング機能強化研修」 8名参加 「事業性評価研修」 9名参加
(3)	事業再生支援	事業再生支援への審査能力向上と継続的取組み	<ul style="list-style-type: none"> 二次に亘るアクションプログラム及び地域密着型金融の取組みの中で培った事業改善のノウハウや目利き力を活かし、地域中小企業の経営改善、事業再生支援の取組みを強化していく。 滋賀県中小企業再生支援協議会および滋賀県信用保証協会経営サポート会議の活用を図りました。 税理士等の外部専門家による経営改善指導等の導入に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県中小企業再生支援協議会の活用実績 32件 4,7070万円 滋賀県信用保証協会経営サポート会議の活用実績 5件 3230万円 税理士等の専門家による経営改善指導導入先 48件 8,3200万円
(4)	事業承継	事業継承への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 後継者問題を抱える中小企業ニーズを踏まえ、相続問題等の法人事業承継を支援する手段・人材の育成 事業承継や人材に関する問題など、取引先が抱える課題解決に向けて、支援を行うべく、事業承継やM&A、経営改善・IT活用等の各専門家と連携協定を締結しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターと連携、事業承継についてのアドバイスや事業承継系策の策定支援等を行いました。 公益財団法人産業雇用安定センターと連携協定を締結、39先を取次ぎしました。
II. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底				
(1)	担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み	「動産・債権譲渡担保融資」等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた経営者保証に関するガイドラインの特則」の趣旨や内容を踏まえた態勢整備と適切な対応。 経営者保証の必要性について、お客さまとの対話を通じ、法人と経営者の関係性や財務状況等を踏まえ適切な対応に努めました。 新型コロナウイルス感染症感染拡大により影響を受けた事業先に対し実質無利子・無担保融資を中心に資金繰り支援に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規に無保証で融資した件数 1,548件 動産・債権譲渡担保融資実績 4件 7320万円 実質無利子・無担保融資融資実績 2,580件 32,0910万円
(2)	企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力、人材育成への取組み	融資渉外、提案セールスができる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中小企業の資金ニーズに応えられるためには、企業の将来性や技術力を的確に評価できる「目利き」が必要であるため、「目利き力」を備えた融資渉外係を育成 外部機関等（滋賀県信用金庫協会等）研修に積極的に参加し、人材の提案能力の向上を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県信用金庫協会主催「事業性評価研修」 9名参加

III. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

<p>(1)</p>	<p>地域全体の活性化、持続可能な成長を視野に入れた取組み</p>	<p>地域経済社会への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業が抱える様々な経営課題をWEB上のサービスを活用してサポートする。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている地元企業への支援。 ・ 大学・地域支援団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「Shiga Big Advance」の提供 全国の金融機関が連携し、地域の中小企業の成長を支援するWEB上のプラットフォームを提供。ビジネスマッチングは24時間商談依頼可能。不動産マッチング・人材マッチング、事業承継マッチングまで、幅広いマッチングニーズに対応。 ・ しんきん「Foodマッチング」を開催 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている食品事業者やバイヤー企業に対して、販路拡大や仕入れ先確保等の支援に取り組みました。 ・ 「新型コロナウイルス感染症に係る給付金・補助金等無料相談会」を開催 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者を支援するため、中小企業診断士や社会保険労務士等の専門家による無料相談会を開催しました。 ・ 新型コロナウイルスに関するアンケート調査を実施 全取引先を対象に、新型コロナウイルス感染症の業種別影響度と、当金庫に求められている支援内容を把握し、本業支援に活かすことを目的にアンケート調査を実施しました。(第1回令和2年6月 第2回令和3年2月) ・ 株式会社日立ハイテクとビジネスマッチング契約を締結 日立ハイテクが運営するWEBメディア「みんなの試作広場(みんなさく)」を活用し、当庫顧客企業が保有する高い技術力や製品、ノウハウを発信することで取引先の販路拡大を支援しました。 ・ ショッピングアプリ「BASE」を活用した販路開拓支援 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、飲食業者や一次産業者のネットショップによる非対面販売を支援するため、信金中央金庫を通じ、ショッピングアプリ「BASE」を活用した販路開拓・拡大支援を提供しました。 ・ アイデアコンテスト県知事賞受賞プロジェクト 2019年にビジネスマッチングフェアと同時開催されたアイデアコンテストで、滋賀県知事賞を受賞した学生のアイデアの具現化に向け、当庫、湖東信用金庫、びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部と包括連携協定を締結しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「Shiga Big Advance」登録企業数 690社 ニーズ登録企業数 433社 FUKURI登録件数 103件 商談依頼件数(依頼元) 243件 HP作成企業数 196社 (令和3年3月31日現在) ・ 滋賀県の協力のもと湖東信用金庫様と共催により、WEB活用によるマッチング支援を行いました。 ・ 感染防止のため事前予約制にて4日間開催し、合計74相談を受付。持続化給付金や雇用調整助成金等について、対象要件や必要書類、申請方法等についての相談に対応しました。 ・ 調査対象 4,467企業(第2回)(第1回 4,235先) 調査方法 スマートフォンによるインターネットを介した調査 有効回答数 3,297件 回答率73.8% 調査結果の詳細については、当庫HP「しがちゅうしんからのお知らせ」をご覧ください。 ・ 令和2年6月3日協定締結
------------	-----------------------------------	-------------------	--	---	---

III. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			
<p>(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>	<p>持続的な地域経済・地域活性化への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な地域経済・地域活性化に貢献していく。 ・ 地域の高齢者の方々へのサービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融円滑化への対応 ・ 顧客の資金調達手段の多様化に対応するため、長期資金計画の手段として私募債の取り扱いを開始しました。 ・ 農林水産事業者の6次産業化への支援の強化のため「滋賀県農業信用基金協会付融資「アグリサポートローン」及び（日本政策金融公庫との業務委託契約締結による協調融資「アグリパートナーローン」に加え、農業者向け専用ローン「しがちゅうしん近江の恵み」の取り扱いをしています。 ・ 取引先のニーズが多様化する中、新たな本業支援メニューとして、さまざまな企業や専門家と業務連携を行っています。 ・ 年金相談会・保険相談会を定期的に開催しました ・ Hi-co通帳への切り替え 4種類の預金通帳（普通預金通帳・総合口座通帳・定期預金通帳・定期積金通帳）について、デザインの変更と機能の充実を図りました。 ・ 多様化する顧客ニーズに対応するため、自宅に住みながら、ゆとりある老後資金確保を目的として、「リバースモーゲージローン」の取り扱いを開始しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当金庫は地域の中小企業者に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため金融円滑化方針等を定め地域の円滑化に取り組んでいます。 ・ 「しんきんSDGs私募債『ちいきのミライ』 令和3年3月1日販売開始 ・ 「滋賀県農業信用基金協会付融資「アグリサポートローン」 融資実績 2件 4百万円 （株）日本政策金融公庫協調融資「アグリパートナーローン」 融資実績 7件 29百万円 ・ 三井住友ファイナンス&リース株式会社と業務提携契約を締結 お客さまのリース等の取引および中古不動産物の売買ニーズに応えるため、業務提携を締結し令和3年4月1日より取り扱いを開始しました。 ・ 令和3年6月末現在、税理士等の専門家を始め、事業承継やM&A、経営改善・IT活用など、40先の各専門家と連携協定を結んでいます。 ・ 年金相談会 年間53回開催 保険相談会 年間22回開催 ・ 4種類の預金通帳について、磁気ストライプを強化したHi-co通帳に変更、ATMでの磁気読み取りエラー等の減少を図りました。 ・ 通帳の配色を2色から4色とし、障がい者や高齢者のお客さまにわかりやすいデザインに変更しました。 ・ 預金規定がWEBで確認できるよう、通帳にQRコードを印字しました。 ・ リバースモーゲージローン「おうみのくらし」 令和2年10月1日取り扱い開始 融資実績 1件 5百万円

経営改善支援の取組み実績（令和2年度）

【令和2年4月～令和3年3月】

（単位：先数）

（単位：%）

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支援取 組み先数 α	うち			経営改善支援 取組み率 α / A	ランクアップ率 β / α	再生計画 策定率 δ / α
			α のうち期末に 債務者区分がラン クアップした先 数 β	α のうち期末に 債務者区分が変 化しなかった先 数 γ	α のうち再生計 画を策定した先 数 δ			
正常先 ①	4,159	11	/	6	6	0.26	/	54.54
要注意先 うちその他 要注意先 ②	410	88	2	80	85	21.46	2.27	96.59
要注意先 うち 要管理先 ③	8	1	0	1	1	12.50	0.00	100.00
破綻懸念先 ④	47	6	0	6	6	12.76	0.00	100.00
実質破綻先 ⑤	19	0	0	0	0	0.00	—	—
破綻先 ⑥	10	0	0	0	0	0.00	—	—
小計 (②～⑥の計)	494	95	2	87	92	19.23	2.10	96.84
合計	4,653	106	2	93	98	2.27	1.88	92.45

- (注) ・期初債務者数及び債務者区分は令和2年4月当初時点で整理しています。
- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
 - ・ β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は α に含めるものの β に含みません。
 - ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は β に含んでいます。
 - ・最初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
 - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
 - ・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 - ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
 - ・「再生計画を策定した先数 δ 」には、金融機関独自の再生計画策定先のほか、中小企業支援協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含みます。